

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション I	4	1	BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
 話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだあと、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて、英語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・100語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 ・絵や提示された語句を使って内容を伝えることができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を身につけている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめ (領域) ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和5年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
1 学期	Lesson 1 Friendships in the Digital Age Lesson 2 Expos: Past, Present, and Future	聞くこと	a: 音節とアクセントやイントネーションに注意して、英文を聞き取り、内容理解することができる b: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、必要な情報を聞き取っている c: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、必要な情報を聞き取ろうとしている	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: フレーズリーディングやパラグラフの構成に注意して、英文を理解することができる b: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、必要な情報を読み取っている c: 日常的话题(学校生活や国際社会)を的確に理解しようとしている	定期考査 (リーディング) 等	
		話すこと	a: 考え、意見、理由、原因を述べながら、英文を話すことができる b: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている	スピーキング テスト等	
		書くこと	a: 文型や時制について理解を深め、これらを適切に活用することができる b: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、まとまりのある文章を書いている c: 日常的话题(学校生活や国際社会)について、まとまりのある文章を書こうとしている	パフォーマンス 課題等	
	中間考査				
	Lesson 3 The Fascinating World of a Professional Storyteller Lesson 4 Changing Behavior in Unique Ways	聞くこと	a: 英語のリズム、弱く発音される語の変化に注意して、英文を聞き取り、内容理解することができる b: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、必要な情報を聞き取っている c: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: 時間的順序、列挙や例示、追加に注意して、英文を理解することができる b: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、必要な情報を読み取っている c: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リーディング) 等	
		話すこと (やり取り)	a: 確信や長所、利点を述べながら、英文を話すことができる b: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている	スピーキング テスト等	
		書くこと	a: 助動詞、態、準動詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる b: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、まとまりのある文章を書いている c: 日常的话题(異文化理解や公共社会)について、まとまりのある文章を書こうとしている	パフォーマンス 課題等	
	期末考査				
	2 学期	Lesson 5 A Journey to Peace	聞くこと	a: アクセントの基本ルールに注意して、英文を聞き取り、内容理解することができる b: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、必要な情報を聞き取っている c: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 (リスニング) 等
		Lesson 6 Humans Evolve with Measurements	読むこと	a: 言い換え、要約、比較、対象に注意して、英文を理解することができる b: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、必要な情報を読み取っている c: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リーディング) 等

※令和5年度以降入学生用

		話すこと (発表)	a: 推測し、妥当性を述べながら、英文を話すことができる b: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている	スピーキング テスト等	
		書くこと	a: 文型、準動詞、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる b: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、まとまりのある文章を書いている c: 日常的话题(教育と平和や歴史文化)について、まとまりのある文章を書こうとしている	パフォーマンス 課題等	
	中間考査				
	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	聞くこと	a: 音の連結や脱落に注意して、英文を聞き取り、内容理解することができる b: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、必要な情報を読み取っている c: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: 事実と意見の区別や原因と結果に注意して英文を理解することができる b: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、必要な情報を読み取っている c: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リーディング) 等	
		話すこと (やり取り)	a: 例、方法や解決策を示しながら、英文を話すことができる b: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている	スピーキング テスト等	
		書くこと	a: 関係副詞や仮定法について理解を深め、これらを適切に活用することができる b: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、まとまりのある文章を書いている c: 日常的话题(動物と科学や環境と生活)について、まとまりのある文章を書こうとしている	パフォーマンス 課題等	
	期末考査				
	3 学期	Lesson 9 Surviving in the Information Age	聞くこと	a: 英語の音声の特徴に注意して、英文を聞き取り、内容理解することができる b: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、必要な情報を読み取っている c: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リスニング) 等
			読むこと	a: 論理展開に注意して、英文を理解することができる b: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、必要な情報を読み取っている c: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 (リーディング) 等
Lesson 10 The Spirit of Zen: Less Is More		話すこと (発表)	a: 目的を述べ、比較しながら、英文を話すことができる b: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、基本的な語句や文を用いて話している c: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている	スピーキング テスト等	
		書くこと	a: 論理展開について理解を深め、これらを適切に活用することができる b: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、まとまりのある文章を書いている c: 考えるべき話題(情報社会や日本文化)について、まとまりのある文章を書こうとしている	パフォーマンス 課題等	
学年末考査					

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	第2学年	CREATIVE English Communication II

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
 話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだあと、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて、英語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第2学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や報告、対話や指示などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。 ・400語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なトピックについて簡単な意見や情報の交換ができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件、テーマについて、複数の文を用いて話すことができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用してまとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を身につけている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
	Lesson 1 Voice for Action Lesson 2 Aren't You Sleepy?	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: Get Ready の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: JTE, ALT の発言や音声を真剣に聞いて、内容を理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リーディング) 等	
		話すこと (やり取り)	a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど、円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: 発信語彙を適切に用いたやり取りができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	スピーキング テスト 等	
		書くこと	a: 発信語彙の適切な用法を理解している。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	パフォーマンス 課題等	
	中間考査				
	Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience Lesson 4 Are You Prepared?	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: Get Ready の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: JTE, ALT の発言や音声を真剣に聞いて、内容を理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リーディング) 等	
		話すこと (発表)	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振り手振りを意識するなど、発表のやり方の知識がある。 b: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）を適切に用いたやり取りができる。 c: 相手の理解を確認しながら適切な発表ができる。	スピーキング テスト 等	
		書くこと	a: 発信語彙の適切な用法を理解している。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	パフォーマンス 課題等	
	期末考査				
	Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: Get Ready の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: JTE, ALT の発言や音声を真剣に聞いて、内容を理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リスニング) 等	
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リーディング) 等	
話すこと (やり取り)		a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど、円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: 発信語彙を適切に用いたやり取りができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	スピーキング テスト 等		
書くこと		a: 発信語彙の適切な用法を理解している。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	パフォーマンス 課題等		
中間考査					
Lesson 7 Living with	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。	定期考査 (リスニング)		

※令和4年度以降入学生用

Adventure Lesson 8 Power to the People!		b: Get Ready の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: JTE, ALT の発言や音声を真剣に聞いて、内容を理解しようとする態度がみられる。	等
	読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リーディング) 等
	話すこと (発表)	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振り手振りを意識するなど、発表のやり方の知識がある。 b: 発信語彙(新語のうち赤色で示したもの)を適切に用いたやり取りができる。 c: 相手の理解を確認しながら適切な発表ができる。	スピーキング テスト 等
	書くこと	a: 発信語彙の適切な用法を理解している。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	パフォーマンス 課題等
期末考査			
Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet Optional Lesson 1 May I Have Your Autograph?	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: Get Ready の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: JTE, ALT の発言や音声を真剣に聞いて、内容を理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リスニング) 等
	読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	定期考査 (リーディング) 等
	話すこと (やり取り)	a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど、円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: 発信語彙を適切に用いたやり取りができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	スピーキング テスト 等
	書くこと	a: 発信語彙の適切な用法を理解している。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	パフォーマンス 課題等
学年末考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現 I	2	1	Vision Quest Logic and Expression I Advanced(啓林館)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。論理・表現 I ではそのため発音・構文・文法を学び、話題別の言語活動を行います。授業では、間違いを恐れず積極的に活動に参加しましょう。
聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えをまとめて、話したり書くことでそれを発表する力を養います。聞いている人に伝わることを意識して、英語を書いたり話していく練習をしましょう。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・100語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を身につけている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和5年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
1 学期	Lesson 1 I want to introduce my new friend.	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(学校生活における自然な会話や学校の習慣を紹介する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(学校生活における自然な会話や学校の習慣を紹介する表現)について、必要な情報を聞き取るようとしている。	授業内課題 等	
		読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(学校生活における自然な会話や学校の習慣を紹介する表現)を理解することができる。 b: 学校生活における自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を理解することができる。 c: 学校生活における自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を理解しようとしている。	定期考査 等	
	Lesson 2 How about joining our group?	話すこと (発表)	a: 命令文・疑問文・感嘆文を適切に作り、また、時制や5文型の構成を理解し、英文を話すことができる。 b: 日本語と英語の語順の違いに注意して、命令文・疑問文・感嘆文・There is 構文を使い、クラブ活動を紹介できる。 c: 自分やパートナーのクラブ活動を紹介しようとしている	パフォーマンス課題 等	
		書くこと	a: 文と文のつながりを意識して、命令文・疑問文・感嘆文・時制や5文型を適切に活用することができる。 b: 文と文のつながりを意識して、学校生活や好きな科目について、理由や具体例などを加えて説明する文を書いている。 c: 学校生活や好きな科目について、理由や具体例などを加えて説明する文を書こうとしている。	定期考査 等	
	中間考査				
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(旅行の計画や経験)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(旅行の計画や経験)について、必要な情報を聞き取るようとしている。	授業内課題 等	
		読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(旅行の計画や趣味)を理解することができる。 b: 旅行の計画や趣味についての表現を理解することができる。 c: 旅行の計画や趣味についての表現を理解しようとしている。	定期考査 等	
	Lesson 4 Have you ever tried it before?	話すこと (やりとり)	a: 時制を理解し英文を話すことができる b: 日本語と英語の語順の違いに注意して、旅行の計画や自身の経験について伝え合うことができる。 c: 旅行の計画や音楽やスポーツの経験について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等	
		書くこと	a: 時制の使い方を理解し、適切に活用することができる。 b: 時制の使い方を意識して、旅行の計画や経験、進路について、具体的に詳細を説明する文を書いている。 c: 旅行の計画や経験、進路について、具体的に詳細を説明する文を書こうとしている。	定期考査 等	
	期末考査				
2 学期	Lesson 5 What do you want to do after high school?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(将来の夢や感情)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(将来の夢や感情)について、必要な情報を聞き取るようとしている。	授業内課題 等	
		読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(将来の夢や感情)を理解することができる。 b: 自分の将来の夢や感情についての表現を理解することができる。 c: 自分の将来の夢や感情についての表現を理解しようとしている。	定期考査 等	
	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	話すこと (発表)	a: 助動詞や受動態の使い方を理解し英文を話すことができる b: 日本語と英語の語順の違いに注意して、自分の将来の夢や買い物について伝えることができる。 c: 自分の将来の夢や買い物について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等	
		書くこと	a: 助動詞や受動態の使い方を理解し、適切に活用することができる。 b: 助動詞や受動態の使い方を意識して、お勧めの小説やいつかしたいことを具体的に詳細を説明する文を書いている。 c: お勧めの小説やいつかしたいことを説明する文を書こうとしている。	定期考査 等	

※令和5年度以降入学生用

		中間考査		
	Lesson 7 I'm happy to have you with us.	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: メディアを通じたコミュニケーションについて、必要な情報を聞き取っている。 c: メディアを通じたコミュニケーションについて、必要な情報を聞き取るようとしている。	授業内課題 等
	Lesson 8 What sport do you like playing?	読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(謝罪や感謝、勧誘など)を理解することができる。 b: 謝罪や感謝、勧誘などについての表現を理解することができる。 c: 謝罪や感謝、勧誘などについての表現を理解しようとしている。	定期考査 等
	Lesson 9 Digital media has come a long way.	話すこと (やりとり)	a: 不定詞や動名詞、分詞の使い方を理解し英文を話すことができる b: 日本語と英語の語順の違いに注意して、受け取った贈り物やスポーツの利点について伝えあうことができる。 c: 受け取った贈り物やスポーツの利点について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 不定詞や動名詞、分詞の使い方を理解し、適切に活用することができる。 b: 不定詞や動名詞、分詞の使い方を意識して、得意なスポーツや自分の夢を具体的に詳細を説明する文を書いている。 c: 得意なスポーツや自分の夢を説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
		期末考査		
3 学期	Lesson 10 That's why I decided to go back.	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 文化や国際問題、社会問題について、必要な情報を聞き取っている。 c: 文化や国際問題、社会問題について、必要な情報を聞き取るようとしている。	授業内課題 等
	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?	読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(経緯や定義の説明や提案、助言)を理解することができる。 b: 経緯や定義の説明や提案、助言の表現を理解することができる。 c: 経緯や定義の説明や提案、助言の表現を理解しようとしている。	定期考査 等
		話すこと (発表)	a: 関係詞や仮定法、比較表現を理解し英文を話すことができる b: 日本語と英語の語順の違いに注意して、文化や国際問題、社会問題についての自分の考えを伝えることができる。 c: 文化や国際問題、社会問題についての自分の考えを伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
	Lesson 12 If I were you, I'd see it as a positive.	書くこと	a: 関係詞や仮定法、比較表現使い方を理解し、適切に活用することができる。 b: 関係詞や仮定法、比較表現使い方を意識して、住みたい地域やタイムマシーンで行ってみたい時代を具体的に説明する文を書いている。 c: 住みたい地域やタイムマシーンで行ってみたい時代を説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
		学年末考査		

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理表現Ⅱ	2	2	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ (論Ⅱ709) 同ワークブック (啓林館) スクランブル英文法・語法 (旺文社)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

論理表現Ⅱでは、1年生で学習した英語の文法や語彙を定着させ、さらなる知識・技能を身に着けて実用レベルに発展させることを目標としています。そのためには、常にターゲットの文法事項の「実際のコミュニケーションの中での使われ方」に重点を置くことが大切です。他者に対して自分を表現することを意識して学習してください。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第2学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や報告、対話や指示などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。 ・400語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なトピックについて簡単な意見や情報の交換ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件、テーマについて、複数の文を用いて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用してまとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を身につけている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
1 学期	Lesson 1 What is your future goal?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(子供の理想の仕事や学校生活に関する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(子供の理想の仕事や学校生活に関する表現)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等	
		読むこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意して、英文(学校生活や夢に関する表現)を理解することができる。 b: 学校生活や夢に関する表現を理解することができる。 c: 学校生活や夢に関する表現を理解しようとしている。	定期考査 等	
	Lesson 2 What school events do you have	話すこと (発表)	a: 様々な主語の形や自動詞・他動詞の違いを理解し、英文を話すことができる。 b: 文と文のつながりを意識して、将来の夢や学校行事について発表することができる。 c: 文と文のつながりを意識して、将来の夢や学校行事について発表しようとしている。	パフォーマンス課題 等	
		書くこと	a: 様々な主語の形や自動詞・他動詞の違いを適切に活用することができる。 b: 文と文のつながりを意識して、学校生活や将来の夢について、理由や具体例などを加えて説明する文を書いている。 c: 文と文のつながりを意識して、学校生活や将来の夢について、理由や具体例などを加えて説明する文を書こうとしている。	定期考査 等	
	中間考査				
	Lesson 3 Who is the best athlete?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(スポーツやソーシャルメディアに関する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(スポーツやソーシャルメディアに関する表現)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等	
		読むこと	a: スポーツやソーシャルメディアに関する表現を理解することができる。 b: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を理解することができる。 c: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を理解しようとしている。	定期考査 等	
		話すこと (発表)	a: スポーツやソーシャルメディアに関する表現を理解し、英文を話すことができる。 b: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を話すことができる。 c: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を話そうとしている。	パフォーマンス課題 等	
		書くこと	a: スポーツやソーシャルメディアに関する表現を理解し、英文を書くことができる。 b: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を書くことができる。 c: 例示・対照などの Paragraph Writing の技法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 等	
	期末考査				
2 学期	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(環境問題や文化に関する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(環境問題や文化に関する表現)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等	
	Lesson 6 What are some culture differences?	読むこと	a: 環境問題や文化に関する表現を理解することができる。 b: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を理解することができる。 c: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を理解しようとしている。	定期考査 等	
	話すこと (発表)	a: 環境問題や文化に関する表現を理解し、英文を話すことができる。 b: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を話すことができる。	パフォーマンス課題 等		

※令和4年度以降入学生用

			c: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を話そうとしている。	
	書くこと		a: 環境問題や文化に関する表現を理解し、英文を書くことができる b: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を書くことができる c: 原因・理由・結果など因果関係を示す Paragraph Writing の技法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 等
中間考査				
3 学期	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(言語教育や日本社会の問題点に関する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(言語教育や日本社会の問題点に関する表現)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 仮定法や言語教育や日本社会の問題点に関する表現を理解することができる。 b: Summarizing の技法を理解し、英文を理解することができる c: Summarizing の技法を理解し、英文を理解しようとしている。	定期考査 等
	Lesson 8 Is Japan open enough?	話すこと (発表)	a: 仮定法や言語教育や日本社会の問題点に関する表現を理解し、英文を話すことができる b: Summarizing の技法を理解し、英文を話すことができる c: Summarizing の技法を理解し、英文を話そうとしている。	パフォーマンス課題 等
	Lesson 9 What if you were rich	書くこと	a: 仮定法や言語教育や日本社会の問題点に関する表現を理解し、英文を書くことができる b: Summarizing の技法を理解し、英文を書くことができる c: Summarizing の技法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 等
期末考査				
3 学期	Lesson 10 How might AI affect our lives?	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題(科学技術や健康やビジネスに関する表現)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(科学技術や健康やビジネスに関する表現)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
	Lesson 11 What is a healthy life?	読むこと	a: 科学技術や健康やビジネスに関する表現を理解することができる。 b: Presentation の技法を理解し、英文を理解することができる c: Presentation の技法を理解し、英文を理解しようとしている。	定期考査 等
	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	話すこと (発表)	a: 科学技術や健康やビジネスに関する表現を理解し、英文を話すことができる b: Presentation の技法を理解し、英文を話すことができる c: Presentation の技法を理解し、英文を話そうとしている。	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 科学技術や健康やビジネスに関する表現を理解し、英文を書くことができる b: Presentation の技法を理解し、英文を書くことができる c: Presentation の技法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 等
学年末考査				

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	韓国・朝鮮語	2	2	好きやねんハングル I

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

すぐ使える「ひとこと会話」を取り入れながら、基本的なハングルの文字と発音、文章の構造を身につける。話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだ後、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて韓国朝鮮語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標)

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> イントネーションやアクセントなど韓国朝鮮語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 日常生活の決まった表現(あいさつ、感謝、謝る)を聴いて理解することができる。 自己紹介や日常的な会話を聞いてその概要を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の要点を示す語句や文、さらにつながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 韓国朝鮮語独特な言い回しを理解しながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備した上で、日常的な事柄や自分や家族、友達など身近なことについて複数の文で描写できる。 韓国朝鮮語独特な言い回しを理解しながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族、友達のことについて、簡単な紹介文を書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な表現を用いて複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	韓国朝鮮語の文字の構造や発音を理解して、実際の聞き取りや会話に役立てる。初級レベルの語彙、文法を身に付け、自己紹介や簡単な日常会話ができる力を身に付ける。	ネイティブ講師との会話練習を通じて、コミュニケーション能力を高める。簡単な日常の表現や時制などを身につけ、短い日記形式で表現できる	グループごとに、実際に近い状況を想定した会話の練習や応用会話を作って発表することによって、協調性の向上、お互いへの親密感を高める。また、映画や伝統遊びなど韓国文化に接することによって異文化への理解を高める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法	
1 学期	(1) 文字と発音 1課～9課 (2) ひとこと 韓国語①-⑨	聞くこと	a: 韓国朝鮮語の母音字、子音字の発音の特性を理解している。 b: 母音字、子音字を組み合わせた文字や単語の発音を聞き取っている。 c: 母音字、子音字を組み合わせた文字や単語を的確に聞き取ろうとしている。	小テスト、 課題など	
		読むこと	a: 韓国朝鮮語の母音字 21 個、子音字 14 個を理解している。 b: 母音字と子音字を組み合わせた文字や単語の意味が理解できる。 c: 母音字と子音字を組み合わせた文字や単語の意味を的確に理解しようとしている。		
		話すこと	a: 韓国朝鮮語の母音字 21 個、子音字 14 個を組み合わせた文字や単語を正しく発音することができる。 b: [ひとこと韓国語①-⑨]を、イントネーションに注意し話している。 c: [ひとこと韓国語①-⑨]を、応用して話そうとしている。		
		書くこと	a: 韓国朝鮮語の母音字 21 個、子音字 14 個を正しく書くことができる。 b: 母音字と子音字を組み合わせた文字や単語を正しく書くことができる。 c: 母音字と子音字を組み合わせた文字や単語を正しく書こうとしている。		
	中間考査				
	(1) 文字と発音 10課～16課 (2) ひとこと 韓国語⑩-⑮	聞くこと	a: 平音・激音・濃音の聞き分けやパッチム単語の発音を理解している。 b: 平音・激音・濃音の聞き分けやパッチム単語の発音を的確に聞き取っている。 c: 平音・激音・濃音の聞き分けやパッチム単語の発音を的確に聞き取ろうとしている。	定期考査 (リスニング) など	
		読むこと	a: 同じ母音でも平音・激音・濃音の文字が入れ替わると意味が異なる単語を理解している。 b: 平音・激音・濃音の文字やパッチム単語の読み分けが的確に理解できる。 c: 平音・激音・濃音の文字やパッチム単語の読みわけを的確に理解しようとしている。	定期考査 (リーディング) など	
		話すこと	a: 平音・激音・濃音やパッチム後の発音に注意して文字や単語、簡単な文章が話すことができる。 b: [ひとこと韓国語⑩-⑮]を、イントネーションに注意し話している。 c: [ひとこと韓国語⑩-⑮]を、自分のシチュエーションに置き換えて話そうとしている。	パフォーマンス 課題など	
		書くこと	a: 習得した発音に注意しながら単語や文章を書くことができる。 b: 日本の地名や名詞などを「韓国の表記法」に基づいてハングルで書くことができる。 c: 好きな季節や音楽など自分の話し(日本語の文章)を「韓国の表記法」に基づいてハングルで書こうとしている。	定期考査 (短い作文) など	
	期末考査				
2 学期	会話と文法 1課～5課	聞くこと	a: 韓国朝鮮語の文章内での発音の変化について理解を深め、文章を聞くことができる。 b: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	小テスト、作文、 パフォーマンス 課題など	
		読むこと	a: 基礎単語に加え、助詞や終結語尾の理解を深め、文章を読むことができる。 b: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、必要な情報を読み取っている。 c: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、必要な情報を読み取ろうとしている。		
		話すこと	a: 基礎単語に加え、助詞や終結語尾の理解を深め、これらを適切に活用して文を話すことができる。 b: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、基本的な語句や文を用いて話している。		

※令和4年度以降入学生用

			c: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	
		書くこと	a: 基礎単語に加え、助詞や終結語尾の理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、まとまりのある文章を書いている。 c: 自己紹介や簡単な話題(場所、所有、日にち)について、まとまりのある文章を書こうとしている。	
中間考査				
会話と文法 6課～10課	聞くこと	a: 考えや意図をうまく伝える表現に注意して文章を聞き取ることができる。 b: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。		定期考査 (リスニング) など
	読むこと	a: 考えや意図をうまく伝える表現に注意して文章を読み取ることができる。 b: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、必要な情報を読み取っている。 c: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、必要な情報を読み取ろうとしている。		定期考査 (リーディング) など
	話すこと	a: 考えや意図をうまく伝える表現に注意して文章を話すことができる。 b: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。		パフォーマンス 課題など
	書くこと	a: 해요形や過去形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、基本的な語句や文を用いてまとまりのある文章で書ける。 c: 日常的な話題(希望、해요形、過去形)について、基本的な語句や文を用いてまとまりのある文章で書こうとしている。		定期考査 (短い作文) など
期末考査				
3学期	K-POP ドラマ	聞くこと	a: K-POP 歌詞の一部を繰り返し聞いて理解することができる。 b: 歌詞で学んだ文法の応用を聴いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 歌詞で学んだ文法の応用を聴いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	小テスト、作文、 パフォーマンス 課題など
		読むこと	a: K-POP 歌詞の一部を繰り返し聞いて意味を理解している。 b: 歌詞で学んだ文法の応用文を読んで、必要な情報を読み取っている。 c: 歌詞で学んだ文法の応用文を読んで、必要な情報を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 韓国ドラマの簡単なセリフの一部を話すことができる。 b: セリフの中の文法を応用して話している。 c: セリフの中の文法を応用して話そうとしている。	
		書くこと	a: 習得してフレーズや文法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: セリフの中の文法を応用して、まとまりのある有意義な文章を書いている。 c: セリフの中の文法を応用して、まとまりのある有意義な文章を書こうとしている。	
学年末考査				

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3	第3学年	PROMINENCE English CommunicationⅢ

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだあと、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて、英語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」(3単位)及び「英語表現Ⅱ」(2単位)

主な教材：「コミュニケーション英語Ⅲ」 PROMINENCE English CommunicationⅢ

「英語表現Ⅱ」 DUALSCOPE English ExpressionⅡ

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。 定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	(コミュ英Ⅱ) インタビューテスト	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて箇条書きで複数の文を書くことができる。 	(英表Ⅱ) 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 	(コミュ英Ⅱ) リスニングテスト 定期考査 (英表Ⅱ) リスニングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 100語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したあと適切なポーズを伴い音読することができる。 	(コミュ英Ⅱ) リーディングテスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて表現している。 授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる。 場面や状況に応じた適切な表現を用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容的に理解することができる。 説明などを読んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、表現活動に必要な文化的背景について理解している。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価規準	主な学習内容	評価方法	
Lesson 1 Ito Jakuchu —The Rediscovered Artist (6時間)	明治以降、一般から忘れ去られていた江戸の絵師、伊藤若冲。第2次世界大戦後、若冲の存在を世に知らしめたのは、何とアメリカ人コレクターだった。若冲の絵の特徴や独特の技巧について読み解き、日本の美術について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リビート、ペア・リーディング等) Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 提出物の有無。
		200年の時を超越して蘇った伝統絵画の評価とその技巧に関心を持ち、作品を鑑賞・考察した結果を周囲と積極的に英語で意見交換する。	200年の時を超越して蘇った伝統絵画の評価とその技巧に関心を持ち、作品を鑑賞・考察した結果を周囲と積極的に英語で意見交換している。			
		「外国語表現の能力」			<ul style="list-style-type: none"> 本文 Communication Activity B, C 	ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> 若冲が現代に及ぼした影響とその高度な技巧について英語で書き、説明する。 他の人に紹介したいものを英語で書き、説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 若冲が現代に及ぼした影響とその高度な技巧について英語で書き、説明することができる。 他の人に鑑賞してもらいたいものについて英語で書き、意見を言うことができる。 			
		「外国語理解の能力」			<ul style="list-style-type: none"> Warm Up Pre-Reading Questions 本文 Communication Activity A 	ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。
やや専門的な絵画の技法や若冲の言動などについて、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。	やや専門的な絵画の技法や若冲の言動などについて、聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えることができる。					
「言語や文化についての知識・理解」			タイトルページの絵と写真	言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。		
日本の伝統絵画を多面的に評価する視点を持ち、特に現代の科学技術との関連性についての確に理解する。	日本の伝統絵画を多面的に評価する視点を持ち、特に現代の科学技術との関連性についての確に理解している。					

※令和3年度以前入学生用

Lesson 2 Leaving Microsoft to Change the World (6時間)	世界的な大企業の青年重役が、会社を辞めて世界中の子供たちに教育の機会を与える NPO を創設する。彼の人生における新たな進路の選択について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・人の生き方・人生の進路の選択に関心を持ち、自分の進路について考えながら、題材を鑑賞する。 ・ウッド氏の人生の選択について、グループ内で積極的に英語で意見交換する。	・人の生き方・人生の進路の選択に関心を持ち、自分の進路について考えながら、題材を鑑賞しようとしている。 ・ウッド氏の人生の選択について、グループ内で積極的に英語で意見交換しようとしている。	・本文の音読活動（リピート、ペア・リーディング等） ・Comprehension	・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。
		「外国語表現の能力」			
		・絵とキーワードを使って、ウッド氏の人生の進路変更の様子について口頭で説明し、自分の意見を述べる。 ・仮定の状況について、自分の意見を英語で書き、グループ内でそれを発表して他のメンバーと意見を交わす。	・絵とキーワードを使って、ウッド氏の人生の進路変更の様子について口頭で説明し、自分の意見を述べる。 ・仮定の状況について、自分の意見を英語で書き、グループ内でそれを発表して他のメンバーと意見を交わすことができる。	・本文 ・Communication Activity A, B, C	ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・絵とキーワードを使って、ウッド氏の人生の進路変更の様子について口頭で説明し、自分の意見を述べる。 ・仮定の状況について、自分の意見を英語で書き、グループ内でそれを発表して他のメンバーと意見を交わす。	・絵とキーワードを使って、ウッド氏の人生の進路変更の様子について口頭で説明し、自分の意見を述べる。 ・仮定の状況について、自分の意見を英語で書き、グループ内でそれを発表して他のメンバーと意見を交わすことができる。	・本文 ・Communication Activity A, B, C	ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
ウッド氏の人生の進路の選択について読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。	ウッド氏の人生の進路の選択について読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	・Warm Up ・Pre-Reading Questions ・本文	ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・人生の進路の選択について柔軟に考える。 ・自分や身近な人と比較して、その共通点や相違点を的確に理解する。	・人生の進路の選択について柔軟に考えている。 ・自分や身近な人と比較して、その共通点や相違点を的確に理解している。	タイトルページの写真・地図・グラフ	言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が定着しているかを判断する。		
Lesson 3 A One-Million-Dollar Lottery Ticket (6時間)	100万ドルの当たり宝くじ券を巡って、アメリカで三つ巴の裁判訴訟が起こった。所有権を主張する3人の訴えを読み、その所有権は誰にあるのかを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		訴訟を審理する裁判と裁判制度に関心を持ち、自分が参加するときのことを想像しながら、訴訟の内容と当事者たちの主張について理解し考えようとする。	訴訟を審理する裁判と裁判制度に関心を持ち、自分が参加するときのことを想像しながら、訴訟の内容と当事者たちの主張について理解し考えようとしている。	・本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等） ・Comprehension	・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。

※令和3年度以前入学生用

		<p>「外国語表現の能力」</p>			
<p>・キーワードや絵を使って、当たり宝くじ券の訴訟の内容を順を追って再話(retelling)する。 ・誰が当たり宝くじ券の所有者なのかについて意見を書き、グループ内で意見を述べる。</p>	<p>・キーワードや絵を使って、当たり宝くじ券の訴訟の内容を順を追って再話(retelling)することができる。 ・誰が当たり宝くじ券の所有者なのかについて意見を書き、グループ内で意見を述べる。</p>	<p>・本文 ・Communication Activity A, B, C</p>	<p>ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。</p>		
<p>「外国語理解の能力」</p>					
<p>当たり宝くじ券を巡る訴訟の内容について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。</p>	<p>当たり宝くじ券を巡る訴訟の内容について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<p>・Warm Up ・Pre-Reading Questions ・本文</p>	<p>ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。</p>		
<p>「言語や文化についての知識・理解」</p>					
<p>・アメリカが訴訟社会と呼ばれる理由をタイトルページのグラフや本文の内容から理解する。 ・日本の裁判員制度のあらましを理解する。</p>	<p>・アメリカが訴訟社会と呼ばれる理由をタイトルページのグラフや本文の内容から理解している。 ・日本の裁判員制度のあらましを理解している。</p>	<p>・タイトルページのグラフやイラスト ・本文</p>	<p>言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が定着しているかを判断する。</p>		
<p>Lesson 4 Recycling Hotel Soap to Save Lives (6時間)</p>	<p>ウガンダからの難民デレク・カヨンゴ氏が、アメリカのホテルで廃棄される石鹸を再利用して、発展途上国の衛生環境の改善に貢献する活動を始める。カヨンゴ氏の活動を通して、世界の衛生状態の格差や乳幼児の死亡率などについて考える。</p>	<p>「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」</p>			
<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状に関心を持ち、資源の再利用や地域間格差の問題について、自分ができることは何かを考える。</p>	<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状に関心を持ち、資源の再利用や地域間格差の問題について、自分ができることは何かを考えようとしている。</p>	<p>・本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等） ・Comprehension</p>	<p>・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。</p>		
<p>「外国語表現の能力」</p>					
<p>・キーワードや絵を使って、カヨンゴ氏の経験と活動内容を順を追って再話(retelling)する。 ・貧しい地域の人々にはどのような問題があり、彼らを援助するために何ができるかについて書き、グループ内で意見を述べる。</p>	<p>・キーワードや絵を使って、カヨンゴ氏の経験と活動内容を順を追って再話(retelling)することができる。 ・貧しい地域の人々にはどのような問題があり、彼らを援助するために何ができるかについて書き、グループ内で意見を述べる。</p>	<p>・本文 ・Communication Activity A, B, C</p>	<p>ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。</p>		
<p>「外国語理解の能力」</p>					
<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。</p>	<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<p>・Warm Up ・Pre-Reading Questions ・本文</p>	<p>ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。</p>		

※令和3年度以前入学生用

		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・カヨング氏がグローバル・ソープ・プロジェクトを設立した背景や活動内容について理解する。 ・地域間格差が発生する原因や、それが地域住民に及ぼす影響について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カヨング氏がグローバル・ソープ・プロジェクトを設立した背景や活動内容について理解している。 ・地域間格差が発生する原因や、それが地域住民に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・タイトルページの写真・地図・グラフ 	<p>言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。</p>
Lesson 5 Question Authority! (6時間)	日本人とアメリカ人とは大きく異なる、「権威」に対したときの考え方や態度について学び、その違いがどのような行動になって表れるかについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの子供たちが「権威を疑う」理由について積極的に考えようとする。 ・「権威」に対する日本人の態度や対応ぶりとその理由について積極的に考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの子供たちが「権威を疑う」理由について積極的に考えようとしている。 ・「権威」に対する日本人の態度や対応ぶりとその理由について積極的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習（リビート、ペア・リーディング等） ・Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・「校則や学校の伝統について異議を唱えたいですか。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書く。 ・グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「校則や学校の伝統について異議を唱えたいですか。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 ・グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションへの取り組み方。 ・ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・「権威を疑う」というアメリカの子供たちの習慣について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「権威を疑う」というアメリカの子供たちの習慣について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Warm Up ・Pre-Reading Questions ・本文 ・Listening Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> ・大小の権威に対する考え方について、日本人と英米人との違いを理解する。 ・権威に対する対応ぶりは変化する場合もあることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大小の権威に対する考え方について、日本人と英米人との違いを理解している。 ・権威に対する対応ぶりは変化する場合もあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・タイトルページの写真や記事 	<p>言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。</p>
Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion (6時間)	ファーストファッションの衣料品は、流行を取り入れているのに安価なので、消費者は何も考えずに買い求めてしまう。その生産に伴う、いくつかの深刻な問題について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について関心を持ち、その現実的な解決策について積極的に考える。 ・「ファーストファッションの問題を解決するために何をするか。」というトピックでプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について関心を持ち、その現実的な解決策について積極的に考えようとしている。 ・「ファーストファッションの問題を解決するために何をするか。」というトピックで積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習（リビート、ペア・リーディング等） ・Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。

※令和3年度以前入学生用

		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えながら考えたことをまとめ、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書く。 ・クラスでプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えながら考えたことをまとめ、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 ・クラスでプレゼンテーションを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションへの取り組み方。 ・ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<p>ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。</p>	<p>ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm Up ・ Pre-Reading Questions ・ 本文 ・ Listening Comprehension 	<p>ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。</p>
「言語や文化についての知識・理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストファッションの生産国における労働環境と賃金、環境問題について理解する。 ・プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストファッションの生産国における労働環境と賃金、環境問題について理解している。 ・プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルページの写真と記事、グラフ ・本文 	<p>言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。</p>
Lesson 7 What Is College For? (6時間)	学校教育の総仕上げとも言える大学教育が、アメリカではこの数十年の間に、より多くの収入が期待できる職業を得るための資格となってしまった。大学は何のためにあるのかという問いを、現在の社会情勢と照らし合わせつつ、広い視野をもって考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>大学の存在意義について関心を持ち、大学教育の望ましい姿について考える。</p>	<p>大学の存在意義について関心を持ち、大学教育の望ましい姿について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習（リビート、ペア・リーディング等） ・Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・「大学では一般教養科目を教えるべきではない。」という論題に関する質問に英語で答えたり、50語ほどの意見を書いたりする。 ・上の論題で、ミニディベートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学では一般教養科目を教えるべきではない。」という論題に関する質問に英語で答えたり、50語ほどの意見を書いたりすることができる。 ・上の論題で、ミニディベートを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートへの取り組み方。 ・ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					
		<p>アメリカの大学教育について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。</p>	<p>アメリカの大学教育について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm Up ・ Pre-Reading Questions ・ 本文 ・ Listening Comprehension 	<p>ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。</p>

※令和3年度以前入学生用

		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の大学教育の長所と短所について理解する。 ・日米の大学教育の類似点や相違点について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の大学教育の長所と短所について理解している。 ・日米の大学教育の類似点や相違点について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・タイトルページの記事や図表 	言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 Attitudes toward Time (6時間)	世界の各地域における時間に対する考え方や対応の仕方の相違は、どこから生まれるのだろうか。世界中の事例といるいるな仮説を読み解きながら、時間に対する人々の姿勢について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について関心を持ち、それらを理解する。 ・時間に対する姿勢の相違に関する仮説を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について関心を持ち、それらを理解しようとしている。 ・時間に対する姿勢の相違に関する仮説を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等） ・Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物の有無。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・「日本人はなぜ時間を強く意識するのか。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書く。 ・グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本人はなぜ時間を強く意識するのか。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 ・グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションへの取り組み方。 ・ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> 世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Warm Up ・Pre-Reading Questions ・本文 ・Listening Comprehension 	ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。		
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 異なる文化圏における人々の時間に対する姿勢について、日本人との相違を知ることによって、その人々とよりよい関係を築くのに役立つことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 異なる文化圏における人々の時間に対する姿勢について、日本人との相違を知ることによって、その人々とよりよい関係を築くのに役立つことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・タイトルページのイラストと解説 	言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。

※令和3年度以前入学生用

Lesson 9 Science of Love (6時間)	人間にとって普遍的なものと考えられる恋愛感情だが、世界中のいろいろな分野の研究者が分析したところ、脳と身体に働きかけるいくつかのホルモンと関係があることが分かった。人間と恋愛感情について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		恋愛感情を論理的分析的に考察することに関心を持ち、自分自身の経験も振り返りながら、恋愛感情について考える。	恋愛感情を論理的分析的に考察することに関心を持ち、自分自身の経験も振り返りながら、恋愛感情について考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等） Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 提出物の有無。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 「理想の恋人はどんな人か。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書く。 グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「理想の恋人はどんな人か。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文 Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッションへの取り組み方。 ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
世界中の恋愛感情の研究内容について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。	世界中の恋愛感情の研究内容について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> Warm Up Pre-Reading Questions 本文 Listening Comprehension 	ワークシート等を提出させ、本文の内容をどれほど理解できているかの判断材料として活用する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
<ul style="list-style-type: none"> 1つのテーマに対して多角的な考察が必要なことを理解する。 人間の感情でさえ脳の働きと捉え、それを科学的に研究する方法があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1つのテーマに対して多角的な考察が必要なことを理解している。 人間の感情でさえ脳の働きと捉え、それを科学的に研究する方法があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文 タイトルページのイラストと解説 	言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身についているかを判断する。		
Lesson 10 Human BUYology (6時間)	現在最新のマーケティングは、直接的間接的に人の五感に訴える手法を用いるまでに進歩している。このマーケティング戦略を通して、企業活動について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
	<ul style="list-style-type: none"> 最新のマーケティング戦略を通して企業活動に関心を持ち、その現状について積極的に理解する。 「店舗のマーケティング戦略」というトピックでプレゼンテーションに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のマーケティング戦略を通して企業活動に関心を持ち、その現状について積極的に理解しようとしている。 「店舗のマーケティング戦略」というトピックでプレゼンテーションに取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等） Comprehension 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 提出物の有無。 	

※令和3年度以前入学生用

「外国語表現の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> ・「店舗のマーケティング戦略」というトピックについての質問に答えてから、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書く。 ・クラスでプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「店舗のマーケティング戦略」というトピックについての質問に答えてから、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 ・クラスでプレゼンテーションを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文 ・ Communication Activity A, B, C 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションへの取り組み方。 ・ ワークシート等を提出させ、工夫しながら表現活動に取り組んでいるかの判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> 企業活動の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm Up 	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答える。
「言語や文化についての知識・理解」			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の企業活動にどのような問題が潜んでいるかを的確に理解する。 ・ 「賢明な消費者」になるためには、どのようなことに気をつけなければいいかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の企業活動にどのような問題が潜んでいるかを的確に理解している。 ・ 「賢明な消費者」になるためには、どのようなことに気をつけなければいいかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文 ・ タイトルページのイラストと解説 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにより、知識が身につけているかを判断する。

学校番号	2001
------	------

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	第3学年	DUALSCOPE English Expression II

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

2年間で学習した英語の語彙や基本的な文法、構文を定着かつ発展させるために、「実際のコミュニケーションの中での使われ方」を意識して実用レベルの英語を身に付けていってください。他者に対して日常的な場面から社会的な問題に対する簡単な自分の意見まで、英語で表現していくことを一番の目標にして学習してください。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（3単位）及び「英語表現Ⅱ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・学んだことや体験したに基づき、準備をしたうえで考えをまとめて発表できる	(英表Ⅱ) プレゼンテーション ペアワーク	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・文章の構成を考えながら書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。	(英表Ⅱ) 定期考査 レポート ワークシート	・社会的な問題の中でも、身近な話題について話されている対話や討論などを聞いて、その概要を捉えることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞ける。	リスニングテスト 定期考査	・700語程度の社会的な話題や時事問題について書かれた説明や評論などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の要旨を理解することができる。	定期考査 ワークシート

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	授業中の活動に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価できる方法で実施。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる ・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を評価できる方法で実施。	・説明などを读んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることができる ・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を評価できる方法で実施。	・英語やその運用について知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを評価できる方法で実施。 ・社会的な内容を含む幅広い話題について、表現活動に必要な文化的背景について理解している

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
パラグラフの構成・つなぎ表現 (4時間)	パラグラフの構成・つなぎ表現の種類を理解し、表現につなげる	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		パラグラフの構成(主題文、支持文、まとめ文)を理解し、つなぎ表現を理解・活用するため、ペアワークでお互いのパラグラフについてコメントしあい、質疑応答する。	モデル・パラグラフを読んで、その構成と、そこで使用されているつなぎ表現とその種類を理解し、それをアウトプットする場面で活用する。	パラグラフの構成・つなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察 音読 ペアワーク
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフの構成・つなぎ表現の知識を正しく活用して書いたり話したりできる。	例文例題ならびにその解説を読み、実際にパラグラフを書く	パラグラフの構成・つなぎ表現を理解し、正しく書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		パラグラフの構成・つなぎ表現の知識を正しく活用して、文章を読んだり聞き取ったりできる。	演習問題・Exerciseの問題を解く	パラグラフの構成・つなぎ表現を意識して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
パラグラフの構成・つなぎ表現のおおよその機能を知っており、トピックに関し、背景知識や語彙・表現を習得している。	Activity を使って、ライティング活動をする	パラグラフの構成・つなぎ表現のおおよその機能を習得している。	活動の確認 ワークの確認		
列挙・時間的順序 (4時間)	列挙・時間的順序の機能と使い方を学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		列挙・時間的順序を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。	列挙・時間的順序の内容をつなぎ表現を用いて、英語で表現する。	列挙・時間的順序を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察 音読 ペアワーク
		「外国語表現の能力」			
		列挙・時間的順序のつなぎ表現を適切に用いて書いたり話したりできる。	例文例題ならびにその解説を読み、実際にパラグラフを書く。	列挙・時間的順序を使った表現を用いて、書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		列挙・時間的順序のつなぎ表現を用いた文章を読んだり聞き取ったりできる。	演習問題・Exerciseの問題を解く	列挙・時間的順序を使った表現を注意して読んだり聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
列挙を表すつなぎ表現、時間的順序を表すつなぎ表現を知っている。	Activity を使って、ライティング活動をする	列挙・時間的順序を表す表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	「コミュニケーションへの 関心・意欲・態度」	単元の評価規準	評価方法
追加・言い換え (4時間)	追加・言い換えの つなぎ表現を使 って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		追加・言い換えを理解・ 活用するため、聞き取り や音読、言語活動に積極 的に取り組む。	追加・言い換えのつなぎ表現 を使ったモデルパラグラフ を読み、その使い方を理解 し、英語で表現する。	追加・言い換えのつな ぎ表現を理解・活用す るため、聞き取りや音 読、言語活動に積極的 に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		追加・言い換えのつなぎ 表現を用いて書いたり 話したりできる。	Activity Step1 に取り組 み、その解説を読む	追加・言い換えのつな ぎ表現を用いて、書い たり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		追加・言い換えのつなぎ表 現に注意して読んだり聞 きとったりできる。	LECTURE ROOM のモ デル英文を読む。	追加・言い換えのつな ぎ表現を用いて、注意 して読んだり、聞いたり できる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
追加・言い換えのつなぎ 表現について習得す る。	Activity STEP 3 を使 って、ライティング活動 をする	追加・言い換えのつな ぎ使った表現を習得し ている。	活動の確認 ワークの確認		
比較・対照 (4時間)	比較・対照の つなぎ表現を使 って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		比較・対照を理解・活用 するため、聞き取りや音 読、言語活動に積極的に 取り組む	パートナーの書いたパラ グラフを読んで、よりよ い内容にするために適切 な提案をしようとしてい る。	比較・対照のつなぎ表 現を理解・活用するた め、聞き取りや音読、 言語活動に積極的に取 り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		比較・対照のつなぎ表現 を適切に用いて書いたり 話したりできる。	Activity step 1 に取 り組み、その解説を読む	比較・対照のつなぎ表 現を使って書いたり話 したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		比較・対照のつなぎ表現 を使った文章を読んだり 聞いたりする	LECTURE ROOM の model 英文を読み、	比較・対照のつなぎ表 現を注意して読んだ り、聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
類似点を表すつなぎ表 現、相違点を表すつなぎ 表現を知っている。	Activity STEP 3 を使って、ライティング 活動をする	比較・対照のつなぎ使 った表現を習得してい る。	活動の確認 ワークの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
例示 (4時間)	例示のつなぎ表現を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		例示を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	パートナーの書いたパラグラフを読んで、よりよい内容にするために適切な提案をしようとしている。	例示のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		例示のつなぎ表現を用いて書いたり話したりする。	Activity step 1 に取り組み、その解説を読む	例示のつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		例示のつなぎ表現に注意して読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM の model 英文を読む	例示のつなぎ表現に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	例示を表すつなぎ表現の使い方を理解し、習得する。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	例示のつなぎ表現の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認	
原因と結果 (4時間)	原因と結果のつなぎ表現を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		原因と結果のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	パートナーの書いたパラグラフを読んで、よりよい内容にするために適切な提案をしようとしている。	原因と結果のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		原因と結果のつなぎ表現を用いて書いたり話したりする。	Activity step 1 に取り組み、その解説を読む	原因と結果のつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		原因と結果のつなぎ表現を用いて読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM の model 英文を読む	原因と結果のつなぎ表現に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	原因と結果のつなぎ表現を用いた表現を理解し、習得する。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	原因と結果のつなぎ表現を使った英文を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
文法・語法の まとめ (4時間)	3年間で習得した文法・語法を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		習得したすべての文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	今までに学んだ文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		さまざまな文法・語法を用いて書いたり話したりする	例文・例題ならびにその解説を読む	さまざまな文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		さまざまな文法・語法に注意して読んだり聞いたりする	演習問題・EXERCISEを解く	さまざまな文法・語法に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	さまざまな文法・語法を習得し、活用する	TRY!を使ってライティング活動をする	さまざまな文法・語法を習得し、活用できる。	活動の確認 ワークの確認	
プレゼンテーション (3時間)	プレゼンテーションを行う	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		プレゼンテーションをするため、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する概要を理解する。	プレゼンテーションをするため、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		プレゼンテーションの原稿を作成し、行う	Practiceを使って、プレゼンテーションの準備をし、行う	プレゼンテーションの原稿を作成し、行うことができる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		プレゼンテーションを理解し適切な質問をする	クラスメートのPresentationを聞いて、理解し質問をする	プレゼンテーションを理解し、適切な質問をすることができる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	プレゼンテーションの準備、実施にあたって必要なことを学び、より説得力のあるプレゼンテーションを行うように工夫する	Practiceを使って、プレゼンテーションを行い、評価をする	プレゼンテーションを準備・実施するだけでなく、より説得力のあるものにするよう工夫することができる	活動の確認 ワークの確認	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
事物を紹介する(4時間)	事物を紹介するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を理解・活用する	事物を紹介するのに適した論理展開を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	複数のエッセイやプレゼンテーションから一番よいものを1つ選び、その理由を適切に述べるができる	エッセイ、プレゼンテーション
		「外国語表現の能力」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を用いて書いたり話したりできる	Activity の TASK A を使って異なる都市を紹介する英文を作る	事物を紹介するのに適した論理展開を書いたり話したりできる	グループワーク、エッセイ
		「外国語理解の能力」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を用いた文章を読んだり聞き取ったりできる	LECTURE ROOM を使って、何かを紹介する場合の特徴的な表現を学び、既出のつなぎ表現を使った英文を確認する	事物を紹介するのに適した論理展開を用いて読んだり聞き取ったりできる	小テスト、エッセイ
「言語や文化についての知識・理解」					
	日本の都市や、地元の祭り、学校の特別活動、お気に入りの本を紹介する上で十分な知識・表現を知っている	Activity の TASK B を使って、読み手・聞き手の興味を引く内容になる表現の仕方を学習する	事物を紹介するのに適した論理展開を理解している	グループワーク、プレゼンテーション	
企画を提案する(4時間)	企画を提案するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		企画を提案するのに適した論理展開を理解・活用する	企画を提案するのに適した論理展開を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	複数のエッセイやプレゼンテーションから一番よいものを1つ選び、その理由を適切に述べることができる	エッセイ、プレゼンテーション
		「外国語表現の能力」			
		企画を提案するのに適した論理展開を用いて書いたり話したりをする	英語で企画する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用できる	企画を提案する際に必要な論理展開を書いたり話したりできる	エッセイ、グループワーク
		「外国語理解の能力」			
		企画を提案するのに適した論理展開を用いた文章を読んだり聞き取る	LECTURE ROOM を使って、英語では最初に提案内容と目的を述べている点に気づかせる	企画を提案する際に必要な論理展開を読んだり聞きとったりできる	プレゼンテーション
「言語や文化についての知識・理解」					
	さまざまな活動についての具体的な提案をする上で、十分な知識・表現を知っている	Activity を使って、架空の提案企画書を作成する	提案企画書が問題点、解決策が明確になっているか、読み手・聞き手に説得力のある内容になっている	プレゼンテーション	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
問題を提起する(4時間)	問題を提起するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		問題を提起する際に有用な論理展開を理解・活用する	問題を提起する際に使われる英文の聞き取りや音読、言語活動	問題を提起するに当たり、適切な論理表現を用いて、英語で表現しようとしている	ディクレーション、音読	
		「外国語表現の能力」				
		英語で問題提起する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用する	Activity を使って、環境問題について問題提起するという設定で、読み手にその問題に関心を持つように促す文章を書く	問題提起する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用できる	グループワーク、エッセイ	
		「外国語理解の能力」				
		問題を提起した文章を読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM を使って、問題提起をする場合には、既習のつなぎ表現を使って効果的に説得力のある英文を作成する	問題を提起した文章を読んだり聞き取ったりできる	エッセイ、プレゼンテーション	
「言語や文化についての知識・理解」						
社会のさまざまな問題について問題提起する上で必要な知識・表現を知っている	Activity を使って、問題提起となるエッセイを書く	問題を提起した文章をさまざまな角度から分析・理解できる	エッセイ			